

# 信濃川大河津資料館友の会だより

## 講座開催のお知らせ

### ・五千石遺跡講演会

大河津可動堰改築事業に伴い発掘された「五千石遺跡」について講演会を行います。詳しくは別紙チラシをご覧ください。

日時：3月6日（土）14：00～16：00

会場：大河津資料館 2F 多目的ホール

## イベント報告

### ・川の物語発表会

11月28日（土）に川の物語発表会が行われました。会員の方から講談や銭太鼓、信濃川水源地登山の報告、詩の朗読が披露されました！



### ・W講演会、友の会活動を考える会

12月12日（土）にW講演会、友の会活動を考える会が行われました。第1部の講演会では早川会長から「信濃川と大河津分水と共に」と題してお話しされ、碓井前館長から「信濃川・大河津分水を考える」と題してお話しいただきました。第2部の友の会活動を考える会では、平成21年度友の会事業の反省や平成22年度の友の会事業について会員のみなさんと考えました。当日は、早川会長の河川功労者賞受賞と碓井前館長の勇退を記念し、花束贈呈も行いました。



## 今号の可動堰

大雪の中、新可動堰完成に向け工事が進んでいます。右岸の堰柱2基と右岸魚道のコンクリート打設が行われており、6月末には7基全ての堰柱と左右岸魚道が完成し、新しい可動堰の全景が分水路の中に見える予定です。

新可動堰完成に向けて、可動堰周辺の定点撮影を紹介します。



右岸堰軸から撮影  
(平成22年2月18日撮影)



右岸堰軸から近景を撮影  
(平成22年2月18日撮影)

## 友の会からのお知らせ

4月18日(日)に分水おいらん道中が開催されます。今年はおいらん道中に合わせ、4月18日(日)11:00~14:00まで4F展望室にてお茶を楽しむ会を行います。展望室からおいらん道中と桜を見ながら一服いかがですか？



## リレー通信

友の会リレー通信では、友の会会員の皆さんから信濃川や大河津分水にまつわる思い出などを書いていただきます。各号において執筆された会員から次の執筆者(会員)を指名していただきます。次に指名された方はご協力をお願いいたします。



### 社団法人 中越防災安全推進機構

友の会会員 山口 壽道

「社団法人北陸建設弘済会」から「社団法人中越防災安全推進機構(長岡市所在)」へ職場を移して1年が経過しますが、この間、多くの皆様を中越地震被災地にご案内してきました。なかでも中国・四川地震復旧関係者が来日された折は、阪神・淡路大震災に学ぶべく神戸(人と防災未来センター)を訪れた後、調査団長の希望で中越の地に足を運んで、中越地震の最も象徴的な被災地「山古志地区」を視察されて帰国しています。

実は、この視察団を大河津分水に案内しました。視察団の来県は突然のことでしたので、大河津資料館は休館日でしたが、視察団一向はとても熱心に大河津分水を学んで帰国されました。彼らの驚きと尊敬は、大河津分水に投下された日本の土木技術の高さだけではなく、崇高な志を持つ土木技術者の存在に注がれていました。政令都市・新潟を守り抜く越後平野の守護神・大河津分水をこの地に創造した人々に素直に敬意を表する姿は、とても印象深く私の胸の奥に残っています。



### 分水路 雑記

友の会会員 橋本 誠一

信濃川源流ツアーに参加しました。水源地標からひとふんばりして甲武信ヶ岳(2,475m)山頂に立ちました。深田久弥の日本百名山のひとつであり、私にとってようやく12山目となります。

さて私は大河津分水路左岸の小集落・渡部(もとは分水路の仲にあった村)に住んで60余年になります。渡部橋西詰め近くに渡部城址(地元では天神山と呼ぶ)があります。山上には菅原神社社殿があり、境内の春の八重桜、参道が大銀杏の落葉で黄金色におおわれる秋。川上を見れば左手に「夕暮れの岡」(手前「石港」バス停下車すぐ)。遠くに粟ヶ岳、守門岳の雄姿が望めます。また、対岸に目をやれば国上山、剣ヶ峰もすぐそこです。ローカル列車に乗って路線バスで来てみて下さい(せわしげなマイカーではダメ)。JR越後線「分水」駅前バス停より寺泊行EKKバス「渡部橋」下車。乗り継げば早向川やあの化け物丁場を経て「野積橋」バス停です。第二床固や河口を眺めたら岬温泉「太古の湯」、ホテル飛鳥でさぶ〜んもよし。橋を渡ると間もなく右手に松原の中にコロニー「白岩の里」があり、先方が寺泊・魚のアメ横通りとなります。

次のご指名は清水保さんと粕川正之一さんです。